

自己評価結果公表シート 2017

作成 早苗幼稚園

1、本園の教育目標

『簡単なことを正確に』を大方針として、『一人一人を大切にして、園児の心のお世話をする』という教育の元、『幼児の成長を助けること』の努力をする。幼児の成長は幼児自身の内に秘められた力であり、周囲からは他人がどうすることも出来ない。常に幼児の気持ちの安定を図る』ことを教育目標としている。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

『単なる知識の丸暗記や一見教育的な作業をやらせるのではなく、日常の生活を営む集団の場所としての教育環境を大切にする。のびのびと元気いっぱい楽しく過ごし、様々なことに興味を示し、素直に驚き、感激をし、また、喜んだり悲しんだりすることから豊かな心を育てていく。園児自らの力で自分自身の機能を自分で発見し自分で育てるといった心の成長を職員全体でお世話をする』という重点事項のもと、評価項目に沿って、自己点検・自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいく。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。	教育要領の理解を、推進し、それを現実の保育に沿わせるように、具体的な場面について話し合いを行っている。
幼稚園の状況をふまえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	幼稚園に求められる社会的ニーズの変化に、本園がこれからどのように応えていく必要があるか、検討している。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる	幼児の発達をとらえるための研修を定期的実施するとともに、日々の子どもの姿について話し合う機会を毎日の職員会で持つようにし、自由闊達に意見が開示できる環境をつくっている。
保護者とのコミュニケーションをはかり、ともに子どもの育ちに向き合うことができるような信頼関係を構築する。	保護者との懇談会を定期的実施するとともに、大きな行事については、保護者の意見を聞き、実施。出された意見に対して必要なものについては、園の考え方を示し改善すべきものは改善するように取り組んでいる。苦情や要望があった場合は、早急に対応し、解決に向け、具体策を実行している。
地震等により帰宅困難になった場合、園児・職員用の水・食料等の備蓄をはかる。	人数に応じて、防寒シート・水・食料(1日分)を確保し、点検をおこなっている。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、教職員が共通に理解し、取り組み状況を話し合うことで、本園としての方針を明確にする事ができ、それを実践する場とすることができた。
保護者ニーズに対して、適宜対応し、園児への保育内容向上に役立ててきた。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
幼稚園の状況をふまえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	幼稚園に求められる社会的ニーズの変化に、本園がこれからどのように応えていく必要があるか、具体的に検討をする。
危機管理	不審者・地震等の災害に備えた教職員の意識付けと危機管理マニュアルの作成を行いたい。
園に対する保護者の思いの把握	建学の精神に則った、私学の独自性に十分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認することで本園のビジョンを策定する基礎としたい。

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。